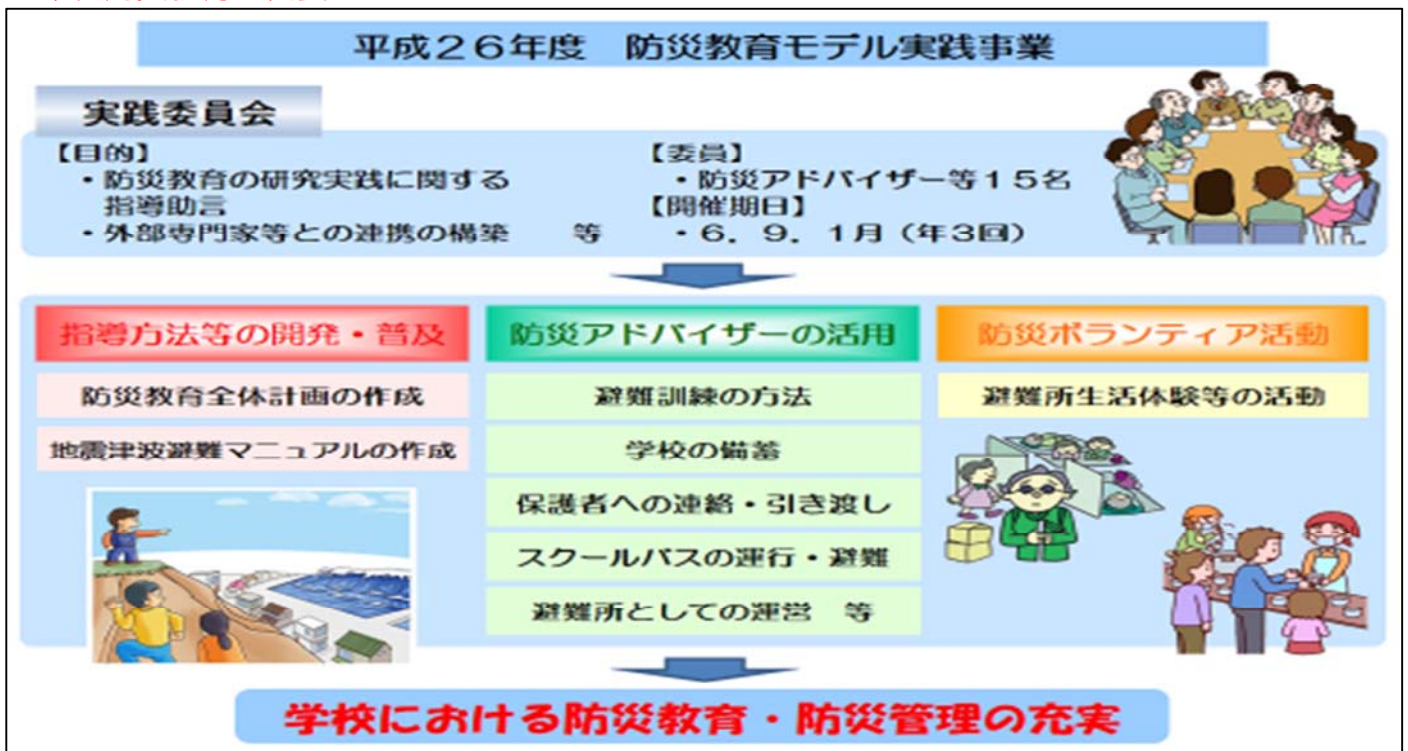


## はじめに～

今年度より、本校では防災教育に取り組んでおります。その様子（職員研修や講習会）につきましては、これまで、ホームページにてお知らせしていましたが、その取り組みを少しでも多くの保護者の方に知らせてほしいという要望を受け、このたび、防災だよりを発行することとなりました。不定期ではありますが、防災に関わる取り組みをできるだけお知らせしたいと思います。

## 本校防災教育の概要について



## ☆ 防災教育モデル事業 第1回実践委員会 6/19（木）

6月19日に第1回目の実践委員会が行われました。実践委員会は、本校の防災教育担当、PTA会長、中津市の防災関係者、関係福祉施設、地域の自治会長等14名で構成されており、年3回の開催が予定されています。今回は、本校が行う防災教育の概要や年間計画等を説明した後、施設見学、本校が抱える課題について討議を行いました。短い時間ではありましたが、それぞれの立場から意見の交換が行われました。地域の方も交えての防災教育に発展し、その取り組みを外部に発信していければと考えています。



概要説明



討議・意見交換

## ☆ 防災講習会（生徒向け）7/22、23日

○小学部防災講習会 7/22（火）

小学部は、まず小ブレイルームで地震の映像を見てイメージをつかみ、地震発生時の初期行動を練習しました。



身を守るための基本的な行動としての①ドロップ(姿勢を低く)、②カバー(体・頭を守る)、③ホールドオン(揺れが収まるまでじっとする)の3つの動作を覚えるために、カメのポーズ(カメが甲羅に隠れる動き)で練習をしました。

その後、起震車へ移動して11名の児童が地震の体験をしました。多くの児童は震度2～4を体験しましたが、揺れをあまり感じなかったようで、ほとんどの児童が練習通りに身を守る初期行動(カメのポーズ)ができていました。震度7に挑戦した2名は揺れが激しく、自分だけでは初期行動ができませんでしたが、先生の補助で「カメのポーズ」ができていました。



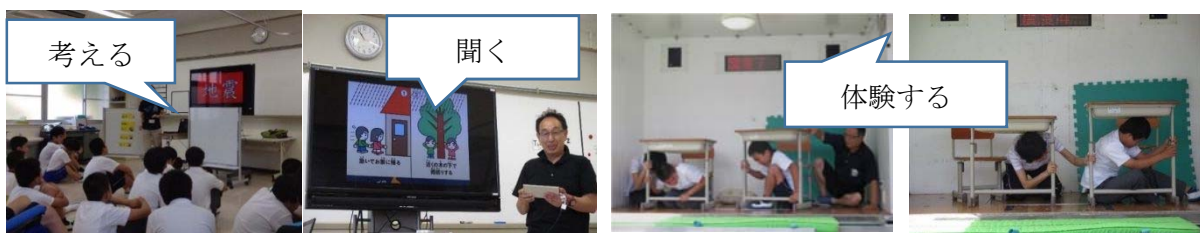
○中学部防災講習会 7/22（火）

「どうしたら自分の身を守れるか」というテーマで『地震』の際にどうしたらよいのかということを考えていきました。

避難訓練でのことを思い出し、活発な意見が出てきました。また、「なぜ?」「どこに?」という問いにも、「頭を守るからです!」「電気が落ちてくるから、ここは危ない!」など、具体的にたくさんの意見が出てきました。

起震車体験では、暑い中でしたが友だちが身を守る様子をよく見たり、自分の身をしっかりと守ったりと真剣に取り組む様子が見られました。机の下にかくれる際も、どんなふうにかくれたらいいのか、机のどの部分を持った方がいいのか等を自分たちで考えながら体験していました。

その後、防災アドバイザーの木ノ下勝矢さんのお話を聞きました。災害の際にどうしたらよいのかということクイズ形式でしてくださり、生徒もこれまで考えてきたことの確認をすることができました。『考える』『体験する・見る』『聞く』ことを通して、防災に対して関心をもつことができた機会となりました。



○高等部防災講習会 7/23（水）

高等部は、災害（地震や津波）が発生するとどういった被害がおこるのか学んだ後、起震車で自分の身の守り方について実践しました。中には『震度7』の揺れを体験した生徒もいましたが、机の下にすぐ隠れるなどして、落ち着いて行動することができていました。

講習会後半は、『廊下や階段』『体育館』『登下校中』各場所で地震が起きたら、どのような行動をして身を守ったらよいか、各学年でそれぞれ話し合いを行いました。最初は大人しかった生徒たちも、難しい課題だったにも関わらず、次第に活発に意見交換を行う様子が見られました。

